

The List of This Year's Faculty Publications
専攻教員の本年度の著書

辻中豊・森裕城編著『現代社会集団の政治機能 利益団体と市民社会』（現代市民社会叢書第2巻）
木鐸社
2010年4月
ISBN：978-4-8332-2430-7

本書は、日本における全国社会団体（職業別電話帳に掲載されている経済団体、労働組合、公益法人、市民団体などあらゆる非営利の社会団体）の調査に基づく研究。主に「利益団体」としての側面に焦点を当てる。

明石純一『入国管理政策 「1990年体制」の成立と展開』
ナカニシヤ出版
2010年5月
ISBN：978-4-7795-0422-8

越境の時代における入国管理政策の変容をまなざす。戦後日本の入管体制においてひとつの転換点であった1989年の「出入国管理及び難民認定法」、いわゆる「入管法」の改正をもって構築された「1990年体制」の成立と展開を中心に外国人受け入れをめぐる現実と政策の相克の20年を緻密な作業で辿る。

佐藤貢悦・嚴錫仁『日中韓同字異義小辞典』
勉誠出版
2010年6月
ISBN：978-4-585-06064-2

同じ漢字でも、日本・中国・韓国で意味が違う。日常的に使われる約300の熟語・漢字の意味の違いを詳述し、各国語の用例を付す。歴史・風土・風習の違いによって生じた意味の違いを知る、漢字文化圏の誤解解消に必携の事典。日中韓同時刊行。

砂川有里子・加納千恵子・一二三朋子・小野正樹『日本語教育研究への招待』
くろしお出版
2010年6月
ISBN：978-4-87424-484-5

日本語教育、日本語学の最前線で活躍する14人の著者（砂川有里子、加納千恵子、一二三朋子、小野正樹、岡崎敏雄、小林典子、カイザーシュテファン、矢澤真人、坪井美樹、杉本武、関崎博紀、石田プリシラ、澤田浩子、許明子）が、各研究の内容を簡潔に紹介し、研究テーマの選び方や研究方法などについて詳しく解説。

ティムール・ダダバエフ『記憶の中のソ連 中央アジアの人々の生きた社会主義時代』

筑波大学出版会

2010年9月

ISBN：978-4-904074-16-9

帝政ロシアの植民地であった中央アジアは、1917年のロシア革命による社会主義化と、1991年のソ連解体にともなう独立国家の誕生という、世界でも例をみない二つの大規模な変革を経験した。本書は、ソ連の誕生から崩壊に至る70年の歴史を、ウズベキスタンの人びとに焦点をあて、人びとの記憶の観点から考察したものである。彼らが語る『記憶の中のソ連』とはどのような世界なのだろうか。直接インタビューにより、人びとの生の声を掘り起こした労作。

河野明日香『「教育」する共同体 ウズベキスタンにおける国民形成と地域社会教育』

九州大学出版会

2010年9月

ISBN：978-4-7985-0026-3

それは新国家における国民形成の醸成装置のみにとらわれた共同体なのか？

それとも、今まさに擁護されるべき人々の教育世界なのか？

独立後のウズベキスタンにおける地域共同体＝マハッラの教育的役割を、現地での長期にわたるフィールドワークをもとに、国民形成と地域社会教育の観点から論じる。

小野正樹・小林典子・長谷川守寿『コロケーションで増やす表現 Vol.2 ほんきの日本語』

くろしお出版

2010年10月

ISBN：978-4-87424-494-4

コロケーションに着目し、語彙力、表現力を増やすための上級用問題集の第2弾。日常的によく使うことばが効率的に学べるように工夫している。CD-ROM付き。